

たまかわ

1998

11

No.387

空と緑“新、呼吸する”——広報TAMAKAWA



こはるびより 小春日和の運動会

四辻分校の秋の体育学習発表会が
10月25日に行われました。
四辻区挙げての運動会は、晴天に
恵まれ、児童はもちろん区民の皆さ
んの交流が図られ大成功でした。

子どもの教育を考える

子どもたちは大丈夫？ ナイフ事件やいじめ、援助交際、薬物乱用など、子どもたちの将来を心配せずにはいられない事件が目立ちます。次代を担う子どもたちが心豊かな人間に成長してほしい——それは家族だけでなく、学校、地域、社会全体の願いです。子どもたちの「心の教育」の重要さが叫ばれているいま、わたしたちは、子どもたちに何を、どう伝えていくべきなのでしょう。

ふじっこの子の「いきなり型」非行が目立つ

子どもたちにまつわるさまざまな事件が、深刻な社会問題になっていきます。殺人や傷害、恐ろしいなどの凶悪・粗暴な非行の増加、依然として深刻な児童・生徒間のいじめ、覚せい剤等の薬物乱用、援助交際など女子の性の悦脱行為——。

ここ数年、少年人口が減っているにもかかわらず、こうした問題行動による補導人員は年々増えていきます。特に、最近では、中・高校生による非行の割合が高くなっており、それまで問題行動のなかった「ふじっこの子」が、いきなり非行に走る「いきなり型」非行が多いのが特徴です。

また、遊ぶ金欲しさが動機となる非行や、マスメディアや友人に引きずられる「模倣」型の非行も増えており、そうした非行に対する抵抗感も薄れている傾向があります。子どもたちの非行の増加の背景として指摘されるのは、子どもたちのモラルの低下や心の問題です。下の表でもうかがえるように、最近の子どもたちの規範意識は低下しています。

子どもたちのさまざまな問題行動の背景には、こうした心の問題が見え隠れしており、「心の教育」の在り方が問われています。

●中学生の規範意識 「とても悪い」「かなり悪い」と思う割合(%)

	1983年	1995年
放置してある他人の自転車に乗る	86.8	77.3
自室でたばこを吸う	79.7	65.1
他人の傘を無断でさして帰る	82.3	74.4
おつかいにミニバイクを運転していく	74.6	56.9
他人の体育館ばきを無断で使用する	76.3	54.0
かるくパーマをかける	63.7	47.6
友達の優勝を祝ってお酒を飲む	59.9	50.8
授業のとき、マンガを読む	60.8	53.4
きまりより少し太いスポンで登校する	49.8	32.6
バスや電車で子ども料金で乗る	25.6	16.2
自転車の二人乗りをする	14.8	6.7

資料：㈱ベネッセコーポレーション ベネッセ教育研究所「モノグラフ」vol.51「中学生は変わったのか～1983年との比較」

この資料は、㈱ベネッセ教育研究所がまとめたものです。1983年当時の中学生と1995年の中学生の善悪の判断に大きな違いがあることが分かります。正義感や倫理観の意識低下が非常に顕著に表れており、「心の教育」の必要性が考えられます。

いまこそ育てたい 子どもたちの「生きる力」

中央教育審議会

「幼児期からの心の教育の在り方について」**答申**

文部大臣の諮問機関である中央教育審議会(根本二朗会長)は、平成9年8月「幼児期からの心の教育の在り方について」諮問を受け、今年の3月の中間報告を経て、本年6月に答申を文部大臣に提出しました。

答申では、「生きる力」の核となる豊かな人間性をはぐくむ心の教育を図ることを求めており、そのために今具体的に何をすべきことを、社会全体、家庭、地域社会、学校それぞれに対して呼び掛ける方式をとっています。特に家庭教育に関する部分では、家庭におけるしつけの在り方について具体的に提言しているのが特徴となっています。

社会全体に対して

- ◎「生きる力」を身に付け新しい時代を切り開く積極的な心を育てよう
- 社会全体で子どもたちが「生きる力」を身に付けるための取り組みを進めていくことが大切です。
- 具体的「生きる力」とは
- ◆自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力
- ◆正義感や倫理観の豊かな人間性

健康や体力

- ◎正義感・倫理観や思いやりの心など豊かな人間性をはぐくむ
- 「生きる力」の核となる豊かな人間性とは
- ◆美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性
- ◆正義感や公正さを重んじる心
- ◆生命を大切にし、人権を尊重する心などの基本的な倫理観
- ◆他人を思いやる心や社会貢献

献の精神

- ◆自立心、自己抑制力、責任感
- ◆他者との共生や異質なるものへの寛容
- ◎社会全体のモラルの低下を問いただそう
- 今後、大人が率先してモラルの低下を是正し「次世代を育てる心を失う危機」を乗り越えなければなりません
- ◎今なすべきことを一つ一つ実行していく

家庭に対して

家庭、地域社会、学校、さらに企業、メディア、そして国や地方公共団体がそれぞれの立場からなすべきことを一つ一つ実行していきましよう

- ◎家庭の在り方を問い直そう
- ◆思いやりのある明るい円満な家庭をつくらう(子どもたちが真にそれを望んでいる)
- ◆夫婦間で一致協力して子育てをしよう
- ◆会話を増やし、家庭の絆を深めよう
- ◆家族一緒に食事を大切にしよう
- ◆過干渉をやめよう
- ◆父親の影響力を大切にしよう
- ◆ひとり親家庭も自信をもって子育てをしよう
- ◎悪いことは悪いとしつけをしつけよう
- ◆やってはいけないことや間違った行いはしっかり正そう
- 「心がけてほしいこと」
- 親自身が「自分さえよければいい」という考え方をしない
- 善悪の区別について幼少のころからしつける
- 悪い行いは直ちに正す
- 平素の温かい愛情の絆と信頼関係を大切にすること
- 気分や感情に流されず一貫性を持ってしがる
- ◆自分の行いには責任があるということに気付かせよう
- 「心がけてほしいこと」
- 後片付けをきちんとさせる
- 家事を担わせる
- 異年齢集団での遊びや地域の活動を体験させる
- ◆自分の子だけじゃなければよいという考え方をやめよう
- ◆思春期の子どもから逃げず、正面から向かい合おう
- ◆「普通の子の」「いきなり型」非行の前にあるサインを見逃さないようにしよう
- ◆身の回りの小さなことから、環境を大切にすることを育てよう
- ◎思いやりのある子どもを育てよう
- ◆祖父母を大切に親の姿を見せよう



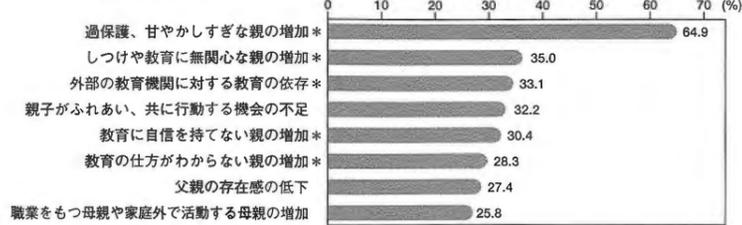
(図表1) 子どもと一緒に過ごす時間(時間)

	父親	母親
日本	3.32	7.44
韓国	3.62	8.40
タイ	6.00	8.06
アメリカ	4.88	7.57
イギリス	4.75	7.52
スウェーデン	3.64	6.49

(注) 各国とも0~12歳の子どもの同居している親約1,000人に対して、平日どのくらい一緒に過ごしているか(睡眠時間は除く)を聞いた結果の平均

資料:「家庭教育に関する国際比較調査」平成6年・文部省

(図表2) 家庭の教育力が低下している理由



(注1) *は選択肢が長いので、その一部を省略して表記している
(注2) 全国の20歳以上の者のうち、「最近では家庭のしつけなど教育する力が低下している」と答えた者約5,500人にその理由を聞いた結果(複数回答可)

資料:「青少年と家庭に関する世論調査」平成5年・総務府

- ▶ 手助けの必要な人を思いやれるようにしよう
- ▶ 差別や偏見は許されないことに気付かせよう
- ▶ 生き物との触れ合いを通して命の大切さを実感させよう
- ▶ 幼児には親が本を読んで聞かせよう
- ◎ 子どもの個性を大切に、未来への夢を持たせよう
- ▶ 幼児期から子どもの平均値や相対的な順位にとらわれず、子どものよきところをほめて伸ばそう
- ▶ 人間としての生き方やこれからの社会について子どもに語りかけ、子どもの将来の夢と希望を聞こう

◎ 家庭で守るべきルールをつくらう

- ▶ それぞれの家庭で生活のきまりやルールをつくらう
- ▶ 幼児期から小さくとも家事を担わせ、責任感や自立心を育てよう
- ▶ 朝の「おはよう」から始めて礼儀を身に付けさせよう
- ▶ 子どもに我慢を覚えさせよう

- ▶ うゝモノの買い与え過ぎは子どもの心をゆがめる
- ▶ 家庭内の年中行事や催事を見直そう
- ▶ 子ども部屋を閉ざさないようにしよう
- ▶ 無制限にテレビやテレビゲームに浸らせないようにしよう
- ▶ 暴力や性に関するテレビ・ビデオの視聴に親が介入・関与をしよう

◎ 遊びの重要性を再認識しよう

- ▶ 「遊び」が特に幼児期から小学生段階で大切なことを認識しよう
- ▶ 自然の中で伸びやかに遊ばせよう
- ▶ 心の成長をゆがめる知育に偏った早期教育を考え直そう
- ▶ 子どもの生活に時間とゆとりを与えよう

◎ 異年齢集団で切磋琢磨する機会に積極的に参加させよう

- ▶ 身近な地域のボランティア・スポーツ・文化活動、青少年団体の活動、地域行事に積極的に参加させよう

学校に対して

◎ 心を育てる場として学校を見直そう

- ▶ 幼稚園・保育所の役割を見直そう
- ▶ 幼稚園・保育所では、家庭と連携して道徳性の芽生えを培いましょう
- ▶ 動植物の飼育・栽培、地域の行事への参加など積極的に取り入れましょう
- ▶ 親と離れ、友達と寝食を共にする幼児キャンプなど自然体験を提供しましょう
- ▶ 小学校以降の学校教育の役割を見直そう
- ▶ 我が国の文化と伝統の価値について理解を深め、未来を拓く心を育てよう
- ▶ 我が国や郷土の伝統・文化や歴史に対する理解を深め、尊重する態度を育成しましょう
- ▶ 科学に関する学習を生かし、驚きや自然への畏敬、未来への夢をはぐくみましよう
- ▶ 道徳教育を見直し、よりよいものにしていこう

道徳の時間を有効に生かそう

- * 「道徳の時間」の授業時間を確保するなど、指導体制を整えましょう
- * テレビ番組を活用したり「ヒーロー」・「ヒロイン」がインターネット等で子どもたちに語りかける機会を設けましょう
- * 道徳の時間に子どもが一目置く地域の人材の力を借りましょう
- * カウンセリングを充実しよう
- * 子どもがスクールカウンセラーに相談できる体制を充実しましょう
- * 「心の教室」とも言うべきカウンセリングルームの設置を進めましょう
- ▶ 不登校にはゆとりを持って対応しよう
- ▶ 問題行動に毅然として対応しよう
- ▶ ゆとりある学校生活で子どもたちの自己実現を図ろう
- * 教育内容を厳選し、自ら学び自ら考える教育を進めましょう。子どもたちが存在感や自己実現の喜びを感じられる学校づくりをしましょう

文部省の取組

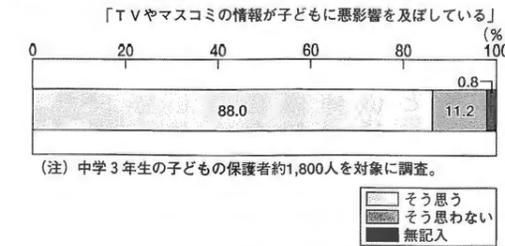
文部省では、関係省庁と連携しながら心の教育の充実を図るため、所要の施策を推進しているところです。

- ① 家庭でのしつけの在り方を盛り込んだ「家庭教育手帳(親子手帳)」等を作成し、母子健康手帳の配付時など母子保健の機会を積極的に活用した家庭教育学習の機会の確保を図ること
- ② 学校の余裕教室等を利用して子どもたちの心の居場所となる「心の教室」とも言うべきカウンセリング・ルームの整備(公立中学校二〇〇校)や教職員経験者などを活用した「心の教室相談員」の配置(公立中学校八〇〇校)による生徒の悩みにのれる相談体制づくりを進めること、などに要する経費を措置しています。

地域社会に対して

- ◎ 地域社会の力を生かそう
- ▶ 地域で子育てを支援しよう
- ▶ 家庭でのしつけの在り方に関する冊子(「家庭教育手帳」)、「しつけ手帳」などを配付して子育てやしつけの在り方を学ばせよう
- ▶ 電話、インターネットなどでの子育て相談ができる体制を整えよう
- ▶ 臨床心理士や精神科医などの人材を「家庭教育カウンセラー」として活用しよう
- ▶ 中、高校生が実際に乳幼児と触れ合い、世話をする体験を与えよう
- ▶ 企業中心社会から「家族に優しい社会」への転換を図りましょう
- ▶ 異年齢集団の中で子供たちに豊かで多彩な体験の機会を与えよう
- ▶ 長期の自然体験活動を振興しよう
- ▶ ボランティア・スポーツ・文化活動、青少年団体の活動等を活発に展開しよう

(図表3) 社会環境についての親の意見



(注) 中学3年生の子どもの保護者約1,800人を対象に調査。

資料:「子供の社会環境についてのアンケート調査結果報告」平成9年・日本PTA全国協議会

「心の教室相談員」に大塚 田中の両先生を任命

失われた心を取り戻したい



小林 教育長

「戦後、日本の国力の復興を教育においては、最大の課題として民主的・自由主義教育の流れの中で先進諸国に追いつけ!! 追い越せ!! を目標に努力が払われ、教育の分野のみならず目ざましい発展を遂げましたが、大きな落とし物がありました。それは、学力さえ向上すれば良い、高学歴は幸せを招く、大人の世界は経済力(金)さえあれば幸せが得られると考えられてきました。しかし、家族を愛し、隣人を愛し、人の痛みがわかる、人の道を忘れた心の中空洞化現象に心が病んでいます。」

村教育委員会では、中学校の空き教室を利用してカウンセリングルーム(心の教室)の設置とそれに伴う「心の相談員」を配置しました。



両先生は、週4回それぞれ担当する中学校のカウンセリングルーム(心の教室)に出動して生徒たちの心の問題についての相談を行っています。

'98 村文化祭

10/24~11/8



そば打ち教室

役場駐車場では、あぶくま高原そばの会と村商工青年部の共催で「そば打ち教室」が開かれ、参加者は熱心に受講していました。



いけ花

村いけ花愛好者の皆さんによるいけ花展覧会は、就業改善センターで開かれました。約30点が出展され、見学者の皆さんは、優雅にいけられた花々の美しさに感動を受けていました。



村の芸術、文芸の祭典「平成10年度玉川村文化祭」は10月24日(土)の山野草展で開幕して、11月8日(日)の芸能発表会まで村民体育館を中心に開かれました。同祭には、村内の団体及び個人から書、絵画、写真、菊花など数千点のほかに中華民国鹿谷郷の児童の作品が展示され、大勢の見学者で賑わいました。今年の文化祭は、初日から入場者数が多くトータルで約一、七〇〇人を記録し大盛況となりました。

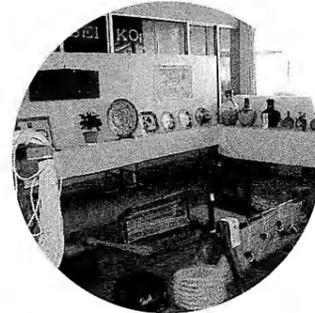
秋の茶会

村就業改善センター日本間では、茶道裏千家愛好者の皆さんによる「茶会」が開かれました。会員の皆さんが見学者に作法の教授をしたり、お茶の御馳走をしたりしていました。

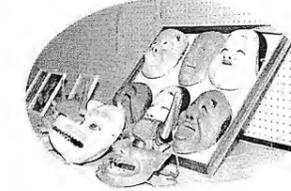


郷土史資料展

就業改善センターロビーでは、民具や農具などの展示が行われました。江戸時代から庶民生活の中で使用された民具の数々に見学者の皆さんは熱心に見入っていました。



面打ち作品

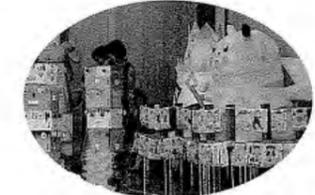


鹿谷郷児童作品展

今回も本村と国際友好都市提携をしている中華民国鹿谷郷の児童の作品が展示されました。絵画や書など素晴らしい作品群が並び、鹿谷郷の芸術、文化の高さが紹介されました。



すがま幼稚園児童作品展



メイン会場の村民体育館では、今年も菊花展が行われ、数多くの鉢が出展されました。関係者の皆さんの話では、今年は天候が不順だったことから、菊づくりは大変難しかったとのこと。それでも綺麗な花々が会場中央を埋めつくして入場者の目を楽しませていました。

福島県海外派遣事業「若人の翼」

車田さん(小高)南米コースに参加

本年度の県海外派遣事業「若人の翼」の南米コースに本村の車田信彦さん(小高)が参加しました。



小高 車田信彦さん

車田さんは、15名の団員とともに9月7日から15日間の日程で南米のパラグアイ、ブラジルの2ヶ国を視察、研修しました。車田さんの研修レポートを今月号と来月号の2回に分けて紹介します。

『若人の翼』参加レポート(上)

“イタイプー発電所の大きさにビックリ”

私は、9月7日から21日までの15日間の日程で、県内各地から集まった団員以下15名の仲間と南米パラグアイ、ブラジルの2ヶ国を訪問しました。この研修の大きな目的は「青少年のボランティア活動について」ということで、他国の活動状況をいろんな角度から視察して見聞を広げてくださいました。私の参加したコースのほかにも欧州、オセアニア、



福島県人会の皆さんによる歓迎会

の状況などの話に夜の更けるのも忘れて懇親を深めることができました。団員全員が初めての南米訪問であったため、この温かい県人会の歓迎は不安な気持ちを払拭するに余りあるほどで、どれだけ元気づけられたかわかりません。翌日、JICA(青年海外協力隊)の現地での活動状況視察のため、実際の赴任先まで赴きつぶさに見て回りました。ある方は学校教育の向上の為に先生として、また農業振興発展の為に指導員として、また森林保護、育成の為に植林などの指導員として、多方面にわたりそれぞれが持っている技術や知識を最大限活かして、現地の発展の為に汗を流す姿を拝見し自分で選んだ道で目的に向かって活動している姿は、とても大きく輝いて見えました。私たちが恵まれた環境で生活している為に忘れかけている、地域の為に何かをしようと困っている人の為に何かをすべるといふ基本的な精神を呼び起こしてくれたいように思います。また、隊員の方々が現地の方々と言葉の障害も乗り越え、すっきり溶け込んでいる姿は、人と人との心の間には国境がないことも再認識させられました。パラグアイでの研修を終え、次の訪問地ブラジルへの移動の途中、世界最大規模のイグアスの滝、その支流に建設されたイタイプー発電所を視察しました。全長3kmに及ぶその滝は、雨が流れているため水量が多かったこともあるが、まるで生き物のように流れ、近づいてみると竜のように襲ってくるのではないかと錯覚するほど豪快な流れでした。イタイプー発電所は着工から16年の歳月を経て完成しピーク時は約4万人の作業者が従



イタイプー発電所をバックに団員のみんなと(後列左端が私)

事していたということ、これを造るための作業員で1つの町ができてしまうという凄さです。また、これに使用したコンクリートの量も半端ではなく、このコンクリートの量で400万人の住まいができるという気の遠くなるような規模だそうです。この発電所1箇所でパラグアイ全域と日本の国土の22倍を誇るブラジルの30%の電力を賄うという、まさに世界最大に相応しい規模の設備なのです。経済大国「日本」と言われるものの、本当の意味での大国とはこういう国々を言うのであらうと認識を新たにしました。

(来月号につづく)

相談会

相談会



選手団の紹介

第10回ふくしま駅伝大会 11月22日(日)号砲

村選手団結団式を開く

福島陸上競技協会と福島民報社主催による第10回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会は、11月22日(日)午前8時に白河総合運動公園競技場をスタートします。
本村選手団の結団式が10月26日(月)午後7時から村民体育館で開かれました。式では、選手団及び役員が紹介されたあと、駅伝村本部長の車田村長から溝井賢一郎監督に団旗が伝達されました。
車田本部長から「大会までコンディションを整え、心をひとつにして白河から県庁までタスキをつないでください」と選手を励ました。

また、渡辺実行委員長のあいさつと高林村議会議長、小原村教育委員長から激励のことが述べられました。
溝井監督から「走れ勝て」を心に1分、1秒を大切に走り抜きたい」とあいさつのと塩澤和彦主将が決意表明を述べ健闘を誓いました。
大会本部では「今年はベストメンバーが揃いました。後はケガをしないようコンディションを整え本番に臨みます。皆さん応援よろしくお願いします」と話していました。

- | | |
|------|-------------|
| (役員) | 監督 溝井賢一郎 |
| | コーチ 小針一志 |
| | 〃 岩谷唯義 |
| | 〃 中村清文 |
| | 〃 北村暢浩 |
| | 〃 江本城幸 |
| | マネージャー 石井春美 |
| | 〃 石井久美子 |
| | 〃 相楽知恵 |
| (選手) | ◎は主将 |
| 第1区 | 高橋由美子 |
| 第2区 | 深谷明日香 |
| 第3区 | 鈴木悟 |
| 第4区 | 関根勝夫 |
| 第5区 | 大竹邦光 |
| 第6区 | 大越強 |
| 第7区 | ◎塩澤和彦 |
| 第8区 | 溝井英樹 |
| 第9区 | 國井康博 |
| 第10区 | 小針美紀 |
| 第11区 | 小針正光 |
| 第12区 | 渡部美弘 |
| 第13区 | 深谷亮 |
| 第14区 | 鈴木文子 |
| 第15区 | 鈴木篤 |
| 控選手 | 高林浅直 |
| | 小林弘典 |
| | 高林浅隆 |
| | 岩谷祐貴 |
| | 小山田進也 |
| | 石井健一 |
| | 相楽潤 |
| | 鈴木真美 |
| | 増子美加 |
| | 塩田亜由美 |
| | (以上敬称略) |

福島県内初の 場外舟券売場

ポートピア玉川が完成

10月14日から
営業開始



関係者代表の皆さんによるテープカット

本村岩法寺の県道福島空港西線沿線に場外舟券発売所「ポートピア玉川」が完成し、10月13日に同施設で竣工式と落成式典及び祝賀会が行われ、村や行政区、地権者などの関係者が出席しました。
午前11時から神事が行われたあと、同施設正面入口で関係者代表によるテープカットが行われました。
続いて落成式が行われ、全国モーターボート競走連合会の宮地専務理事から名称使用許可及び表示マークが、浜名湖競艇企業団の河合企業長ら関係者に贈られました。続いて河合企業長、ポートピア施設会社の小野里社長からあいさつが行われたあと、車田村長など来賓から祝辞が述べられました。

ポートピア玉川は、浜名湖競艇企業団の初めての場外舟券発売所として、また、ポートピアとしては全国12番目、東北で3番目の発売所となりました。
同施設は、鉄骨造2階建、延べ床面積四、九六一㎡、約一、五三〇台収容の駐車場を備えています。施設内では二四六インチのマルチビジョンにレースの様子が大きく映し出され臨場感あふれるレースの様を楽しむことができます。
10月14日にオープンとなり年間約二〇〇日の開催が予定されています。



お祝いの集まり

中体連新人大会

女子バレーボール(須釜中) 男子剣道団体(泉中)が優勝

「卓球王国」須釜中大活躍

中体連石川支部新人体育大会は、9月30日と10月5日に郡内10会場で開催されました。団体競技にっつては新チームになって初めての公式戦の場となり、チームの実力が試されることから各会場で熱戦が繰り広げられました。
競技の結果、団体種目では、須釜中学校の女子バレーボール部と泉中学校の男子剣道部がそれぞれ見事優勝を飾りました。なお、泉中学校の男子剣道団体は、昨年の新人大会、春の総合大会に続いて3連覇となりました。



女子バレーボール優勝の須釜中バレーボール部



男子剣道団体優勝の泉中剣道部



女子剣道個人優勝の林さん

林さん(須釜中)、 女子剣道個人でV

須釜中卓球男女とも ダブルスの部で優勝

個人競技では、林奈穂子さん(須釜中)が女子剣道個人戦で優勝を飾りました。
卓球では須釜中学校の実力が如何なく発揮されて数々の上位入賞を飾りました。男子シングルスで佐久間政宏君が優勝、鈴木大蔵君と大木一弘君のペアが男子ダブルスで優勝、また、瀬谷香保里さんと真野目美和さんのペアが女子ダブルスで優勝を飾りました。更に団体では、男子、女子ともに準優勝を飾り、「卓球王国」須釜中学校を大いにアピールした大会となりました。



男子卓球シングルス優勝の佐久間君



女子卓球ダブルス優勝の真野目、瀬谷組



男子卓球ダブルス優勝の鈴木、大木組

大会の主な成績 (敬称略)

- (女子バレーボール)
 - 優勝 須釜中学校
 - 3位 泉中学校
- (男子剣道)
 - 団体優勝 泉中学校
 - 個人3位 小針拓史(泉)
- (女子剣道)
 - 団体2位 須釜中学校
 - 団体3位 泉中学校
 - 個人優勝 林奈穂子(須釜)
- (男子卓球)
 - 団体 2位 須釜中学校
 - シングルス 優勝 佐久間政宏(須釜)
 - シングルス 2位 大野美夫(須釜)
 - ダブルス優勝 瀬谷香保里・真野目美和ペア(須釜)
 - ダブルス3位 佐久間正子・坂本浩子ペア(泉)
- (男子柔道)
 - 48kg級 2位 増子 博(泉)
 - 55kg級 3位 曲山和宏(泉)
 - 78kg超級 3位 奥野広詩(泉)
- (女子柔道)
 - 団体 3位 泉中学校
 - 48kg級 2位 角田 瞳(泉)
 - 56kg超級 2位 高原愛美(泉)
- (野球)
 - 3位 須釜中学校
 - (ソフトボール) 3位 泉中学校



左が2,500m滑走路

空港の位置は？
「ハイ、玉川村です」

空港の位置は、滑走路の中心を示す標点で決定されます。現在使用されている滑走路の標点は、須賀川市に属していましたが、来る12月3日に供用開始となる二千五百メートルの滑走路の標点は、現在の地点より西に百二十メートル、南に二百五十メートルそれぞれ移動となり玉川村に属します。県では先頃、福島空港条例の一部を改正して福島空港の位置を須賀川市から玉川村に変更しました。

第23回県肉用牛共進会
ひろこ5号に2等賞

9/29

(社)全国和牛登録協会福島県支部主催の第23回県肉用牛共進会は、本宮町の県家畜市場で39頭が出場して行われました。同共進会は、「福島牛」の肉質を競うもので、本村北須釜の関根ヒデ子さん所有の「ひろこ5号」が第3区(若雌・生後20~23カ月)の部に出品して、見事2等賞に入賞しました。



ひろこ5号と所有者の関根ヒデ子さん(左端)



須釜中文化祭の弁論大会のようす

村内中学校
文化祭たけなわ

11/1

文化の華が咲く秋。村文化祭をはじめ、村内の須釜、泉両中学校でも文化祭が華やかに行われました。須釜中学校では、「夢を信じて はばたけ明日へ そして未来へ」をテーマに絵画や習字の展示、体育館では各クラスごとに合唱や演奏などが上演されました。父兄をはじめ大勢の皆さんが見学を訪れ、日頃の学業などの成果が発表されました。



防災ヘリまでケガ人を運ぶ消防隊員

「空港で事故発生!!」
福島空港で防災訓練

二四〇人搭乗のB767型機がエンジン火災を起こし福島空港に緊急着陸。しかし、バランスを崩してオーバーランした。」との想定で消火救難総合防災訓練が行われました。訓練には、県、空港、消防、警察、医療など各関係機関が参加して行われました。本村消防団からも消防車3台、消防団員15名が出動して、航空機の消火作業訓練に参加しました。また、今回は県防災ヘリコプターも登場して、ケガ人を搬送する訓練など実践さながらに行われました。



夢のある大壁画
福島空港に並ぶ

10/11

福島空港の国際線旅客ビル建設工事の工事区域の安全確保のため囲いがされており、その囲いに大きな絵画が展示され話題となっています。この絵画は、福島空港ビル㈱が「一夢飛行一世界へそして21世紀へ」をテーマに空港の近隣小中学校から募集したものです。縦1.8m、横3.6mのパネルに描かれた作品は、本村からも5校が出展しており、全部で19枚のパネルが一行に展示され空港利用者の目を引いています。(12ページの情報トレインに写真掲載)



金婚夫婦を代表して受賞する野崎辰巳・ツマさんご夫妻

豊かな長寿社会づくりをめざして
第一回玉川村高齢者福祉大会を開催

高齢者が一同に集う村をはじめの高齢者による福祉大会が村民体育館で行われました。式典は、渡辺政一大会長が式辞を述べ、車田村長、高林議長、木田石川地方老人クラブ連合会長からそれぞれ祝辞が寄せられました。また、福島民報社による本村の金婚夫婦47組に鞍田同社石川支局長から表彰状と記念品が贈られました。大会では、高齢者代表者5名による「高齢者からの提言」の発表が行われました。続いて「いつでも青春」と題して、千葉市の百歳万歳社社長の植松紀子さんの記念講演が行われました。また、各行政区から唄や踊り、演奏などが披露されました。最後に豊かな長寿社会づくりの推進などを含んだ大会決議が採択されて閉会となりました。

10/18

トピックス
IN
たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—
 役場総務課広報広聴係まで



ウルトラマン参上
児童大喜び

泉保育所に突然、ウルトラマンが現れ児童たちはビックリ。このウルトラマンの正体は、須賀川信用金庫玉川支店開店5周年を記念した行事で同支店が使用していた着ぐるみでした。支店の職員の方が中に入ってウルトラマンに変身しての奮闘に、子供たちは記念撮影をしたり、握手をしたりして大喜びでした。

10/20



小林教育員に目録を手渡す車田会長(左から2人目)と分会役員

交安協玉川分会
中学生にリストバンドを贈る

10/13

石川地方交通安全協会玉川分会(車田悦夫会長)では、村内の中学生全員(339名)に反射材付きのリストバンドを贈りました。車田会長は「これからの時期、日暮れが早くなり学校の下校時は暗くなってしまいます。このリストバンドを活用して交通事故に遭わないようにしてください」と話していました。



～福島空港国際線旅客ビル建設記念「大壁画展」より～

教育費用が年々増大

『国の教育ローン』が手助け

金利が低く、手続簡単

ご家庭の教育費用の負担が年々増大しています。「国の教育ローン」は、金利が低いことや手続が簡単で安心してお使いいただける制度です。

利用いただける方

- 次の学校に入学、在学される方の保護者又はご本人
- 高校、高等専門学校
- 短大、大学、大学院
- 専修学校各種学校、予備校
- 盲学校、聾学校、養護学校の高等部など
- 外国の高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院
- その他職業能力開発学校などの教育施設

ご融資金額

学生・生徒お一人につき200万円以内

利率

年2.5%
(平成10年8月12日現在)

融資機関

8年以内(在学期間以内で元金据置可能。但し、最長4年)交通遺児家庭又は母子家庭の方は、1年の延長が可能

使いみち

- (1) 入学時に必要な費用
- (2) 在学中に必要な費用
- (3) 学生の国民年金の保険料

返済方法

元利均等毎月払い(半年賦・年賦返済も可能)

申込窓口

国民金融公庫 郡山支店
郡山市清水台1丁目6番21号
(☎0249-23-7140)

秋季全国火災予防運動
「火の用心、7つのポイント」

- 1 家の周りに燃えやすいものを置かない。
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 3 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 4 風の強いときは、かき火をしない。
- 5 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。



◎暮らしと電気安全◎
スイッチやプラグが熱くなっていますか

スイッチやコンセント、プラグやコード等が使用中に熱くなるのは、電気の使いすぎか、スイッチやコンセント、プラグ等の接触不良が原因のことが多いようです。そのまま使用しておりますと、過熱して火災の原因になる事も考えられます。最寄りの電気工事店または軽電気工事センターに修理を依頼しましょう。(大型の電気器具は、使用中コンセントやプラグが多少温かくなることはあります。)



プラグが加熱しますよ
(財)東北電気保安協会

伝言板



昨年の大会から

第15回村民卓球大会参加者募集

玉川卓球クラブ(塩澤正勝会長)主催の卓球大会を下記により開催します。奮って参加してください。

- ◆日時 12月13日(日) 午前9時開始
- ◆場所 勤労者体育センター(南須釜)
- ◆種目 小学生の部～シングルスのみ
中学生・一般の部～シングルスとダブルス
- ◆参加資格 村内に居住している方、又は村内に勤務している方
- ◆参加申込 12月4日(金)までにクラブ会長(☎57-3907)又は村公民館へ

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。
(村社会福祉協議会)
厚く御礼申し上げます。

- 蒜生の曲山文彦さん
- 南須釜の阿部幸太郎さん
- 小高の溝井志津子さん
- 小高の車田利重さん
- 南須釜の小原 清さん
- 山小屋の松山徳一さん

村のようす
(10年11月1日現在)

戸数	1,777戸(±0)
人口	7,628人(-8)
出生	3,745人(±0)
死亡	3,883人(-8)

お誕生おめでとうございます

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	三瓶 靖幸	和夫 樹
中々	岩谷 美由樹	直志 一
竜崎	小針 大敬	修也 介
南須釜	會田 祐介	幸彦 幸
	塩澤 めぐみ	

おくやみ申し上げます

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
蒜生	曲山 美良	62	文雄
小高	車田 兵助	77	利重
中々	溝井 喜浩	37	喜代美
南須釜	及川 久よ	93	小田 光
中々	阿部 ハル	91	幸太郎
南須釜	小原 正江	20	清
山小屋	松山 キサ	77	徳一

今月の納税

村民税 第3期
国民健康保険税 第5期
国民年金保険料 11月分
【納期限は11月25日(水)です。忘れずに納めましょう!】

花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

縄のごと寄り合うものか老いて猶、沁みて覚ゆる夫婦の絆
茂り任せの庭にも風情小鳥らが日がなひねもす来て囀れば
新床にせんと畳を眺めおり擦り切れし縁に子らの足音
運転手の定年真近な長男に高速道はラストステージ
駅の階段急ぎ降りればそっと来て肩に手を貸す中年婦人
太陽に見詰められての野良仕事老いの背にする汗の一すじ

小針 登里
小針 守次
小針 愛子
真弓 はん
溝井 はなよ
曲山 きくみ

11月12月の健康ごよみ

- 11月
- 25日(水) 機能訓練 午前10時～
- 27日(金) 1歳児お誕生健診 午後1時～
- 12月
- 9日(水) 三種混合予防接種 午後1時～
股関節脱臼検診 午後1時30分～午後2時
- 10日(木) 三種混合予防接種 午後1時
- 17日(木) 機能訓練 午前10時
- 18日(金) 1歳6ヵ月児健診 午後1時
3・4ヵ月児健診 午後1時30分～

保:保健センター 須:須釜公民館
石保:石川町保健センター 愛:受付時間

私のふるさと — 宮城県石巻市 —



実家の近くにある石巻サザンファン館。同館に展示してある支官常長が外交使節団が使用した復元船です。



関根由美子さん (小高)

私のふるさととは、

石巻市でも隣の牡鹿町との境に位置する福貴浦という356軒の小さな集落です。

私の子供時代は、石巻の市内にも陸の公共交通が不便だったので、1日1本の巡航船が唯一の足でした。子供の頃、石巻市に出ると、『天都会』という印象でした。小中学校までの通学は、子供の足で歩いて約1時間かかりましたので、玉川は、とても便利だなあと思います。

家の裏には山がせまっております。自然がすぐに海という地形です。自然の湾になつているので海はとても穏やかです。夏になると海で潜って遊んだりしました。小学校にはプールなど無かったので、水泳大会を海でやったのを覚えています。

私の実家では、カキの養殖をしているので、9月下旬から翌年の3月頃までは取り入れ作業で大変忙しくなります。私も小学生とはいえ一端の労働力として土曜日、日曜日に手伝わされました。

当時の不便な土地で嫌でしたが、今は自然環境の良い素晴らしいところだと思っています。

【方言クイズ】私の土地で「おがる」というのはどういう意味でしょうか？

※先月の答え「氷」です。

私が、岩瀬郡長沼町出身ですが、叔母の世話で主人と一緒に約40年の年月が経ちます。長沼町にも東京故郷会があり入会しています。主人の須釜東京在住者の同級生12、3人の方たちとは年に5、6回集まって新年会や花見などを開いており、私も仲間に入れさせてくださいたいしております。

猪原一美さんの誘いで猪原さんの奥さんと一緒に玉川会に入会させていただきました。先日は、玉川会発足10周年記念としてふるさとでの総会が開かれました。私たち夫婦もバスで東京から玉川村へ行き、村長さんをはじめ村役場の方々などから温かいお出迎えを受けました。また、初めて村内めぐりもさせていただきました。ふれあいセンターや中学校などを見学させていただきました。立派な建物に感心しました。

主人の実家の山や農地も空港用地となり、立派な福島空港が開港しました。北須釜の細い道にも広い道路に生まれ変わり、沿道には美しい花々の花街道となっております。

総会の会場となった母畑温泉『ホテル八幡屋』では、少女たちによる念仏踊りが上演され子供たちの華麗なる踊りに感激しました。宴会が賑やかになり、太鼓の音頭に合わせての盆踊りには、会場の皆さんも懐かしさから踊り出していました。



玉川村出身でないのに皆様とふれあいが出来て本当に幸せに思っています。玉川村の益々の発展を千葉よりお祈りしますとともに玉川会の皆様、今後ともよろしくお祈り致します。

シリーズ 今日のお卓 ⑧

今月のお題は「この冬を乗り切るために」

寒さやそれに伴うストレスに耐えられる体を保持しなければなりません。風邪や他の感染に対して抵抗力を高める為に必要なビタミン類(ビタミンABCなど)、良質のタンパク質を含む野菜が秋の時期にたくさん収穫されます。冬にむけていろいろな野菜から栄養をとっておきましょう。

今月の献立

「チンゲン菜のクリーム煮」

- 一材料(4人分) — 1人分106キロカロリー
- チンゲン菜 400g ●ハム 2枚
 - 干しいたけ 4枚 ●人参 80g ●ねぎ 10cm
 - しょうが 1かけ ●スープの素 1個 ●牛乳 200cc
 - 塩、こしょう 適宜 ●サラダ油 大さじ1
 - a 片栗粉 大さじ1 水大さじ2

— 作り方 —

①干しいたけを20~30分水につけてもどす。石づきを取り3つにそぎ切り。ねぎ、しょうがをみじん切り。チンゲン菜を4~5cmに切る。ハムを6等分に切る。人参を短冊に切る。

②フライパンでチンゲン菜をいため、湯をひたひたにして3~4分煮てザルにあげて水をきる。

③ねぎ、しょうがをいため、ハム・人参・しいたけをよくいためチンゲン菜を入れ水100cc、スープの素、塩、こしょう、牛乳を入れ2分煮て、aでとろ味をつける。

※ワンポイントアドバイス
家にある野菜ならなんでもOK。オリジナルな一品を作ってみてはいかがですか。

東京玉川会コーナー



心に残る 我がふるさと 『村内めぐり』

千葉県市川市

矢吹嘉子さん

(北須釜出身の矢吹金吉さんの妻)



村内めぐりのとき須釜中学校にて主人と記念撮影

用道となり、立派な福島空港が開港しました。北須釜の細い道にも広い道路に生まれ変わり、沿道には美しい花々の花街道となっております。

総会の会場となった母畑温泉『ホテル八幡屋』では、少女たちによる念仏踊りが上演され子供たちの華麗なる踊りに感激しました。宴会が賑やかになり、太鼓の音頭に合わせての盆踊りには、会場の皆さんも懐かしさから踊り出していました。

そして抽選会では、私が一番最初にラッキー賞を頂きました。帰りには、村産品の竹炭や農家の皆さんの心尽くしの米、トマトなどのお土産をいただき大変美味しかったです。

玉川村出身でないのに皆様とふれあいが出来て本当に幸せに思っています。玉川村の益々の発展を千葉よりお祈りしますとともに玉川会の皆様、今後ともよろしくお祈り致します。